

平成30年度第1回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録

日 時：平成30年4月23日(月)14時00分 から 15時45分

場 所：京都大学宇治地区研究所本館 S棟5階 防災研究所大会議室(S-519D)

出席者：1号委員 加藤、河島、大石【議長】、橋本、木戸

2号委員 山下、風間、齋藤、小林、川野(代理出席)

3号委員 酒井、岩田、河野(代理出席)、川池、多々納

4号委員 橋本、佐々

5号委員 三浦(代理出席)

6号委員 大西

オブザーバ 中川、澁谷、松室、鈴木(代理出席)

陪 席 小西、南口、河津、福田

(敬称略、委員名簿順)

配付資料：

資料1 京都大学防災研究所自然災害研究協議会委員名簿・出席者名簿

資料2 平成29年度第3回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録(案)

資料3 平成29年度自然災害研究協議会決算報告

資料4 平成30年度自然災害研究協議会本部活動計画

及び各地区部会の活動計画と予算計画

4-1 本部、4-2 北海道地区、4-3 東北地区、4-4 関東地区、4-5 中部地区、

4-6 近畿地区、4-7 中国地区、4-8 四国地区、4-9 西部地区

資料5 平成30年度自然災害研究協議会予算(案)

資料6 協議会委員の追加

資料7 第55回自然災害科学総合シンポジウム(案)

資料8 自然災害研究協議会科研費(突発災害)申請ガイドライン

突発災害調査委員会名簿(平成30年度)(案)

協議会議事に先立ち、中川 京都大学防災研究所長から挨拶、本協議会設立趣旨、意義及び活動内容等の説明があった。続いて、松室 文部科学省研究開発局地震・防災研究課防災科学技術推進室長から挨拶がなされた。

議 事：

1．委員の紹介（資料1）

岩田委員より、本協議会の新規委員として、東北大学の風間委員並びに山口大学の朝位委員の紹介、代理出席をいただいた方の紹介があった。また、風間委員より挨拶がなされた。

2．前回（平成29年度第3回）議事録（案）の確認（資料2）

岩田委員より、議事録（案）の説明があり、了承された。

3．平成29年度決算報告（資料3）

岩田委員並びに大石議長より、資料に基づいて説明がなされ、了承された。

4．平成30年度本部及び各地区部会の活動計画と予算計画（資料4）

資料に基づいて、本部並びに各地区部会より平成30年度の活動計画等について説明がなされ、了承された。（説明要旨は以下のとおり）

本 部：第55回自然災害科学総合シンポジウムの開催（平成30年9月18日京都大学宇治キャンパスきはだホールにて開催予定）、河川災害シンポジウムの開催（北海道大学にて平成30年11月25日開催予定）、データベース SAIGAI の充実として、自然災害研究協議会議長名義で防災研究所長宛ての管理体制に関する検討依頼文書を作成したこと、突発災害調査の実施（平成30年度突発災害調査委員会委員）、国際展開調査（第4回グローバルサミットを平成31年3月13日～15日に開催、GADRI 事業報告）

北海道地区：北海道地区幹事会・総会の開催、地区フォーラム開催、資料センター報告の印刷頒布、北海道地区自然災害関係研究者ネットワークの更新、HPの更新並びに予算計画

東北地区：研究集会及び総会の開催、研究論文集の発刊、HPの管理運営、メーリングリストの管理運営、東北地区自然災害資料センターの管理運営、シンポジウム等の共催・後援、地域防災実践型共同研究の実施、予算計画

関東地区：市民オープンフォーラム「大宮グランドセントラルステーション化構想を『防災』の視点から考える」の開催（平成30年7月21日 浦和コミュニティーセンター）  
予算計画

中部地区：げんさい楽座のスピナウト企画の開催、研究成果公開シンポジウムの開催（平成30年6月9日 三重大学）、減災連携シンポジウムの開催（平成30年6月 名古屋大学）、シンポジウム「社会基盤構造物の耐震と維持管理の現状と課題」の開催（平成30年10月 名古屋工業大学）、防災シンポジウムの開催（平成30年12月 豊橋技術科学大学）、自然災害科学中部地区研究集会の開催（平成31年3月2日 静岡大学）、HPの運営管理、水防災セミナーの開催、SAIGAI データベースの更新、予算計画

近畿地区：幹事会の開催、HPの維持管理更新、研究集会の共催、予算計画

中国地区：部会HPの管理・充実、研究発表会の実施（平成31年3月）、研究論文集の発行、地域の防災関係機関との連携、文部科学省の「地域防災対策支援研究プロジェクト」との連携、予算計画

四国地区：突発災害調査、自然災害フォーラムの共催（平成30年10月頃）、南海地震研究シンポジウムの共催（平成30年12月又は平成31年1月予定）、地区部会の開催（平成31年3月）、予算計画

西部地区：研究発表会の開催（平成31年2月1日予定）、地区部会報の発行、地区部会名簿の更新、予算計画

#### 5．平成30年度 自然災害研究協議会予算（案）について（資料5）

岩田委員より配布資料に基づき、昨年度と同様に各地区部会予算を調整配分した旨の説明がなされた。間接経費での予算分がまだ確定していない状況である旨、説明があった。各地区について、昨年度並みでの予算配当を考えており、その予算の範囲内で工面して頂き活動していただけるようお願いし、協議の結果、本予算案が了承された。

また、岩田委員より、災害調査の初動体制旅費については本部経費で確保をしているので、各地区で初動体制に係る調査研究旅費が必要となった場合は要望していただきたい旨、説明があった。また、防災研究所の地域防災実践型共同研究（特定）分が自然災害研究協議会東北地区部会へ採択（予算配当額は未確定）され、本協議会も活動のサポートをしていきたい旨、説明があった。

## 6. 協議会委員の追加について（資料6）

データベース SAIGAI を整備し、活用推進を進めるため、防災研究所にはワーキンググループを構築して検討を始めるにあたり、本協議会との連携をより密にするため、協議会メンバー（データベース担当）として現在、大西委員（防災研究所巨大災害研究センター）に加え、佐藤健教授（東北大学災害科学国際研究所）、畑山満則教授（防災研究所巨大災害研究センター長）の2名の方に6号委員として加わっていただくことについて、岩田委員から提案があり、了承された。

但し、佐藤先生は昨年度まで本協議会委員であったため、任期は残り1期（平成30年5月から平成32年3月末まで）までとすることを確認した。

## 7. 第55回自然災害科学総合シンポジウムについて（資料7）

岩田委員より配布資料に基づき、平成30年9月18日（火）京都大学宇治キャンパスきはだホールにて開催予定の第55回自然災害科学総合シンポジウムのプログラム（案）について説明がなされ、総合討論については、データベース SAIGAI についての進捗・話題提供を予定している旨、説明があり了承された。また、総合討論において防災科学技術研究所の保有しているデータベースの紹介も検討することとした。

## 8. 突発災害調査委員会について（資料8）

岩田委員より配布資料に基づき、突発災害調査委員会の地震火山部会及び風水害部会の両方に、災害リスクマネジメント担当して大西委員を新たに推薦したい旨説明があり、了承された。

## 9. その他

- (1) 岩田委員並びに中川所長より、協議会での議論を深めて活動を活発にしていくためにも、委員の皆様から要望、提案、情報提供があります場合は総務担当（岩田委員）へ遠慮なく具申いただきたい旨、説明があった。
- (2) 国際連携担当の多々納委員並びに澁谷副所長より、防災研究所として国際共同利用・共同研究拠点への申請を検討しており、各地区部会並びに地区部会の中にある関係機関にもサポートレターに関する支援（こういった研究機関へ送付したら良いか等）について、説明があった。
- (3) 河島委員より、重点推進型共同研究における大雪災害調査に係る報告会を、新潟にて平成30年5月19日に開催を検討しており、その際自然災害研究協議会に共催又は後援の形でお願いしてよいか、説明があった。岩田委員から、自然災害研究協議会としても共催の形で参画したい旨、回答があった。

・次回の協議会は、9月18日(火)17:00~18:00の予定。

配付冊子等：

自然災害研究協議会パンフレット(日本語版・英語版) 規程、申合せ、  
2017年九州北部豪雨災害 調査報告書、GADRI 事業報告書、  
平成29年7月九州北部豪雨災害に関する総合的研究報告書